



長泉寺だより

真言宗 薬園山長泉寺

〒700-0807

岡山市北区南方3丁目10番40号

TEL(086)223-7450

FAX(086)221-0302

振込 岡山 01250-6-6418

ホームページ: www.chosenji.net

第 293 号

秋といえば「祭」。それは、
大自然への畏敬の念であること
もに、地域共同体を強固にする
力を持つ。

大震災の前夜と言わ
れる今の日本において、
国は首都圏在住五千万
人という人口の極度集
中を深く危惧している。

もし首都直下地震が
起きたら、日本人の半
数近くが直接被災。そ
れは即ち国の存立危機
にあたるからである。

その対策として「地方
創生」という名の「人
の分散政策」が実施さ
れて十数年。しかし、
なかなか効果なく、未
だ試行錯誤の繰り返し
と言える。

どうすれば地方に残る
のか？お金も仕事も大切だが、

「祭」が日本を救う

ひともし

何より「充実感」が要るように
思われる。

祭は地域を充実させる。大人は

集会や準備、子どもは
お囃子や踊りの稽古を
重ね、迎える本番をみ
んなで祝う。その中で
地域の絆や愛着が養わ
れるとともに、年寄り
から子どもまでが役割
と責任を持つことに
よって、「あなたはこの
地域にとって必要な存
在だ」という感覚が醸
成されていく。

人間は、必要とされ
ることにこそ充実感を
得る生きものだ。「あ
なたは不要」という地
域に、人は残らない。地方創生
の本質はそれではないか。祭の
再生が望まれる。
(龍)

奉祈 家内安全 / 息災延命 / 交通安全 / 如意円満 / 天下泰平

新春 大般若経転読法会

正月8日 (金) 午前10時～ 於：長泉寺本堂

午前9時より・・・年頭挨拶、写経書初、献茶献花式、
奉納詠歌、奉納舞踊

午前11時半・・・清興「新春らくご」桂米紫さん

正午 新年互礼会 (お抹茶接待)

祈禱札お申込み用紙は、『いづみ』次号に同封します (金貳千円也／一願)

新・合唱団

「ナーガ」始まる!

約10年にわたって活躍した和讃会ゴスペラーズに代わり、今月より新たに合唱団「ナーガ」が活動を開始。その初練習が16日、本堂で行われました。ゴスペラーズに引き続き、ソプラノ佐々木英代先生のご指導の下、新メンバーの皆さん、元気よく声を出しました。

「ナーガ」とは古代インド語・サンスクリット語(梵語)で「竜」を意味します。今、平和が強く望まれる時代を迎えていますが、まさに竜のようにたくましく、そして優雅に、仏の教えに則した歌をうたっていきたいと思います。

ナーガは、毎月第1、2、4月曜午前10時~正午に、本堂で練習をします。参加ご希望の方はお寺までご連絡ください。

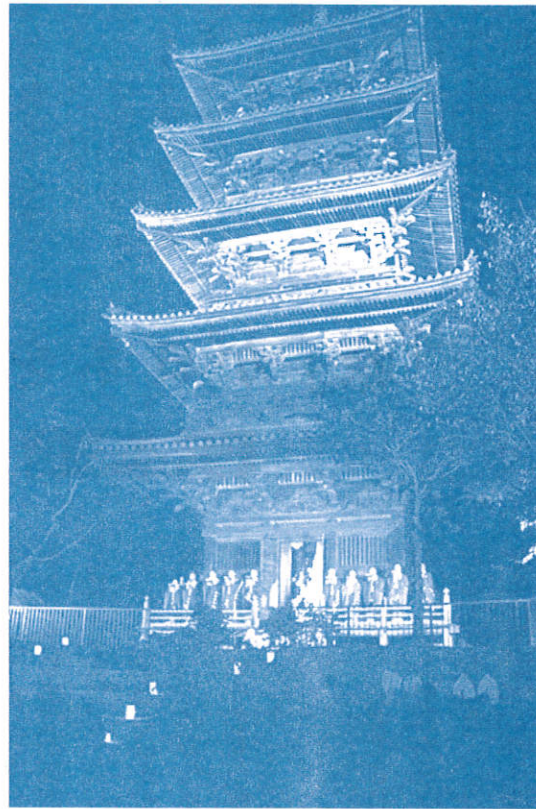
(月謝2千円)

10月29日

備中国分寺で声明

岡山の真言宗御室派青年僧で構成される岡山御室青年会は、備中国分寺五重塔にて先月末、声明コンサートを開き、千人以上の方がご参拝くださいました。

ライトアップされた五重塔はとても幻想的で、青年僧たちが唱える声明の響きとともに、多くの



方が癒されたのではないでしょうか。

当山からも龍門住職が参加しました。

負の連鎖を止めよう

再び、フランス・パリで衝撃的なテロ事件が起きました。およそ一三〇名が死亡、三五〇名が負傷と報道されています。悼まれてなりません。心より祈りを捧げるばかりです。

日本はフランスと親交の深い国ですし、皆様の中にもご友人やお知り合いがおられることでしょう。御心配、御同情の念いかばかりかと拝察いたします。

一方で、テロの掃討と称するイラクやシリアに対する米欧の暴力的な行為が、どうか過激化しないようにと願います。今回のテロ事件と、アメリカやフランスなどの有志連合国が中東で行っている空爆、どちらも不特定多数の人を殺傷しているという意味で同一のものであると言わざるを得ません。そしてそのことを、わたしたち日本人はもっと自覚しないとイケないように思います。

フランスでの被害に心を寄せること自体は尊いことありますが、日本ないし

脱原発への祈りは続く

脱原発をめざす仏教者ネットワーク岡山（事務局当山）が主催する毎月十一日（東日本大震災月命日）の「脱原発行進・於倉敷」が始まり、三年半が過ぎました。この行動は、真言宗一心念誦堂（倉敷市西坂）の住職・佐伯隆快師の呼びかけで始まり、当山住職も参加を続けています。

震災から一年が経った二〇一二年春、「日本のすべての原発が止まるまで続ける」ということで始まったわけですが、なかなか終わりは見えず、苦しい状況であるというのが正直なところです。

原発の是非をめぐる議論は、これまで各方面で様々なされておりますが、究極のところ各人の「宗教」に委ねられているように存じます。震災のあった二〇一一年十二月、全日本仏教会は『原子力によらない生き方を求めて』という事実上の「脱原発宣言」を発表

しました。保守的と言われる仏教会がこのような宣言を出したのは極めて異例のことだったわけですが、このことが象徴していることは、やはりどう考えても仏教は原発を許容できない、ということなのです。

そのような原発が存在する社会は、即ち仏教が行き届いていない社会だということの意味しており、つまり仏教者の力不足に他なりません。その意味で、私も僧侶は深い無力感に苛まれながらも、多くの方の力をお貸しただいて、なんとか路上で声をあげ続けている次第です。まさに「苦行」のよ

うな気持ちではありますが、仏法を護るため、そして未来を生きる子どもたちのためにも、へこたれるわけにはいきません。

檀信徒皆さまのご理解、ご協力を賜れば幸いです。

我々日本国民が、国としてフランス側に立つことは、今回のようなテロを失くしていくという点では無意味、否、マイナスでしょう。

ジハーディスト（イスラム聖戦士）の多くが、親や子どもを殺されるなどして幸せに生きる権利を奪われた若者たちです。彼らは、米欧が掲げている「自由と民主主義」というイデオロギーに、もはや失うものがないほどに搾取され続けています。その故に自爆さえ恐れられません。

世界は今、対テロ戦争を終わらせなければいけないときを迎えています。そのために取り組むべきことは、決して武力行使などではなく、人道的、そして経済的な支援を、テロの温床となっている中東地域へ積極的に行なっていくことでしょう。

さて、日本はどうするのか。そして、あなたは何をするのか。道を間違えれば、そう遠くない将来にフランスと同じような事件が日本でも起こってしまうことは避けられません。

第12回 脱原発結集

と き：11月24日(火)

ところ：蔭涼寺

(岡山市北区中央町10-28)

第一部 「学習会」 14:00~16:30

講師：細川弘明 さん

(原子力市民委員会 事務局長)

第二部 「脱原発行進」 17:00~18:00

蔭涼寺~大供交差点~岡山駅前

主催：脱原発をめざす仏教者ネットワーク岡山

問い合わせ：086-223-7450

(事務局・当山内)

ご先祖供養

平成28年 年忌表

1周忌	平成27年
3回忌	平成26年
7回忌	平成22年
13回忌	平成16年
17回忌	平成12年
25回忌	平成4年
33回忌	昭和59年
50回忌	昭和42年

行く歳 来る歳

除夜の鐘

大晦日 午後11時~

温かいお接待を
ご用意しております



於：長泉寺鐘樓門

長泉寺 寺子屋文化講座 vol.3

『岡山に逗留した 漱石 (夏目金之助)』

講師：熊代正英 先生

吉備路文学館副館長

11月27日(金)

19:00~20:30

於：長泉寺本堂

参加無料

寺子屋文化講座が賑わう

当山では今年から、地域の歴史や文化を学ぼうということで「長泉寺寺子屋文化講座」を開講しました。隔月で開催されるこの講座には、地域で活躍される様々な分野のスペシャリストにご講演をいただき、檀信徒に限らず幅広い方からご好評を得ています。

お寺は古来より文化の発祥地であり、地域の人々が憩う場所でした。しかし近年は、葬儀や法事ばかりに専念することが多く、人々の足が遠退いてしまっているのが現状です。当山は、そのお寺本来の存在意義に立ち帰り、檀信徒および地域の皆さまに日頃より愛される寺院でありたいと願っております。

